

衆議院厚生労働委員会ニュース

平成 22.3.9 第 174 回国会第 6 号

3月9日(火)、第6回の委員会が開かれました。

1 平成 22 年度における子ども手当の支給に関する法律案（内閣提出第 6 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）学校法人菊武学園名古屋経営短期大学学長

三重県松阪市長

国立社会保障・人口問題研究所国際関係部第 2 室長

立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科教授

株式会社東レ経営研究所ダイバーシティ&ワークライフバランス研究部長

全日本教職員組合養護教員部長

古 橋 エツ子君

山 中 光 茂君

阿 部 彩君

高 橋 紘 士君

渥 美 由 喜君

関 口 てるみ君

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

菊 田 真紀子君（民主）

- ・子ども手当の政策効果及び現金給付の重要性に関して古橋参考人の見解を伺いたい。
- ・イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデンといった欧州の先進諸国の児童（家族）手当に所得制限が設けられていない理由について古橋参考人に伺いたい。
- ・子供の貧困の解消にはどのような政策が必要か阿部参考人及び関口参考人の見解を伺いたい。

阿 部 知 子君（社民）

- ・子育ての支援には、子ども手当のような現金給付と保育のような現物給付とはどちらを優先させるべきかということについて古橋参考人の見解を伺いたい。
- ・我が国において子どもの貧困対策が遅れた理由及び保育施策の重要性に関して阿部参考人の見解を伺いたい。
- ・パウチャーと比較した場合、現金給付である子ども手当は、貯蓄に回りやすいのではないかと懸念に対する渥美参考人の見解を伺いたい。

あ べ 俊 子君（自民）

- ・少子化対策において現金給付と現物給付の割合はどの程度が適当であるかについて古橋参考人の見解を伺いたい。
- ・月額 2 万 6 千円の子ども手当に相当する財源を、用途を限定されず国から配分された場合、どのように対応するのか山中参考人の見解を伺いたい。
- ・子ども手当をパウチャー方式で支給することとした場合、保育サービスなどの選択肢が少ない地域も考えられるが渥美参考人の見解を伺いたい。

古 屋 範 子君（公明）

- ・子どもをもうけることに関して大きな要素となるワークライフバランスの推進方策について渥美参考人の見解を伺いたい。また、現金給付に代えてパウチャー制度を導入すべきという意見があるが、その実現に向けた課題について渥美参考人はどのように考えているのか。
- ・子育て世帯には子ども手当よりも住宅手当を優先する必要性について高橋参考人の見解を伺いたい。また、年金や子育て政策については超党派で協議を行い、一定の方向性を確立すべきという指摘について高橋参考人はどのように考えているのか。
- ・子ども手当の創設に当たっては地方の意見を反映させる仕組みが必要であると考え、山中参考人の見解を伺いたい。

高 橋 千鶴子君（共産）

- ・現金給付と現物給付は車の両輪であるにもかかわらず、平成 23 年度以降の子ども手当を全額国庫負担とし、保育サービスなどを全額地方負担とするのでは子育て支援施策に対する国の責任を果たさないことになりかねないという指摘に対する山中参考人の見解を伺いたい。
- ・低所得世帯では子ども手当は生活費に吸収され「子どもの健やかな育ちを支援する」という本法案の目的が達成されず、かえって塾などの費用に使える世帯との格差が拡大するのではないかと懸念に対する関口参考人の見解を伺いたい。
- ・阿部参考人が提唱している「子どもの貧困ゼロ社会への 11 のステップ」における「大人に対する所得保障」の内容について詳しく伺いたい。

柿澤末途君(みんな)

- ・子ども手当を現金支給ではなくバウチャー支給とし、名宛人を各世帯の母親としてはどうかとの意見について、古橋参考人の見解を伺いたい。
- ・子ども手当について平成23年度以降月額2万6千円とすることが妥当なのか否か国民的な議論が必要とされる中で、外に向かってモノが言いにくい首長さん方の意見を国に反映させる必要性について山中参考人の見解を伺いたい。